




鹿屋市こどもモニター

令和7年度 第2回アンケート結果

令和8年3月

鹿屋市 しちょうこうしつ 市長公室 せいさくすいしんか 政策推進課



01 アンケートについて



実施期間

令和8年1月29日～2月28日

回答者数

58人

回答率

87%(58人/67人)

調査方法

インターネット経由での回答

テーマ

にんちしょう
認知症について

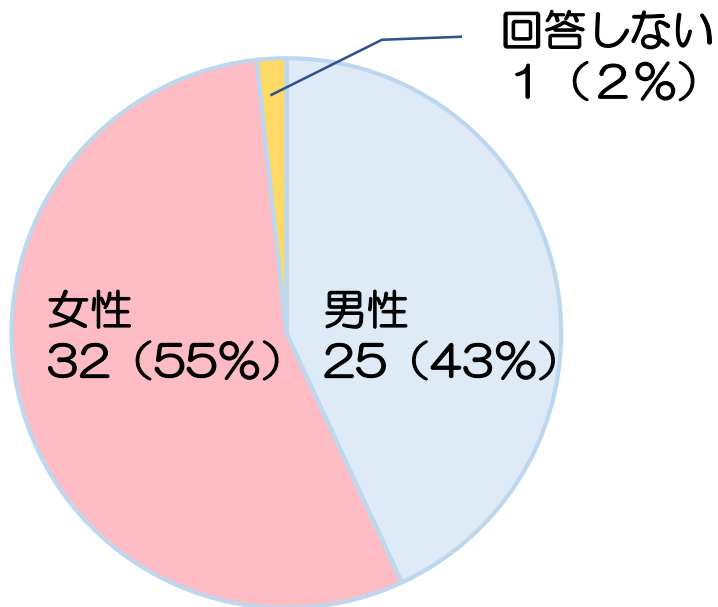


02

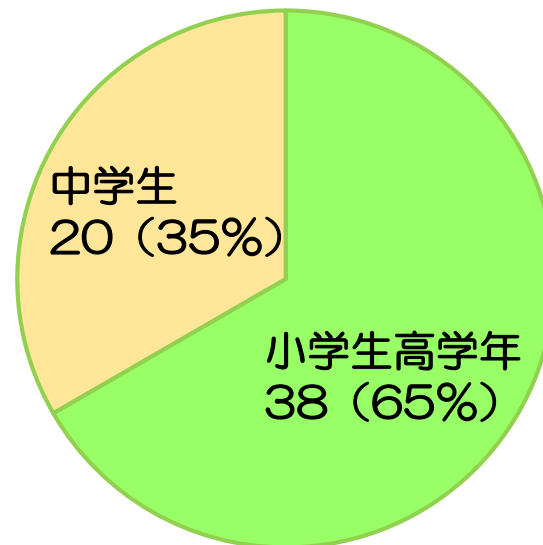
答えてくれた方



性別



学年



	男性	女性	回答しない	合計
小学生高学年	16名	21名	1名	38名
中学生	9名	11名	0名	20名
合計	25名	32名	1名	58名



03

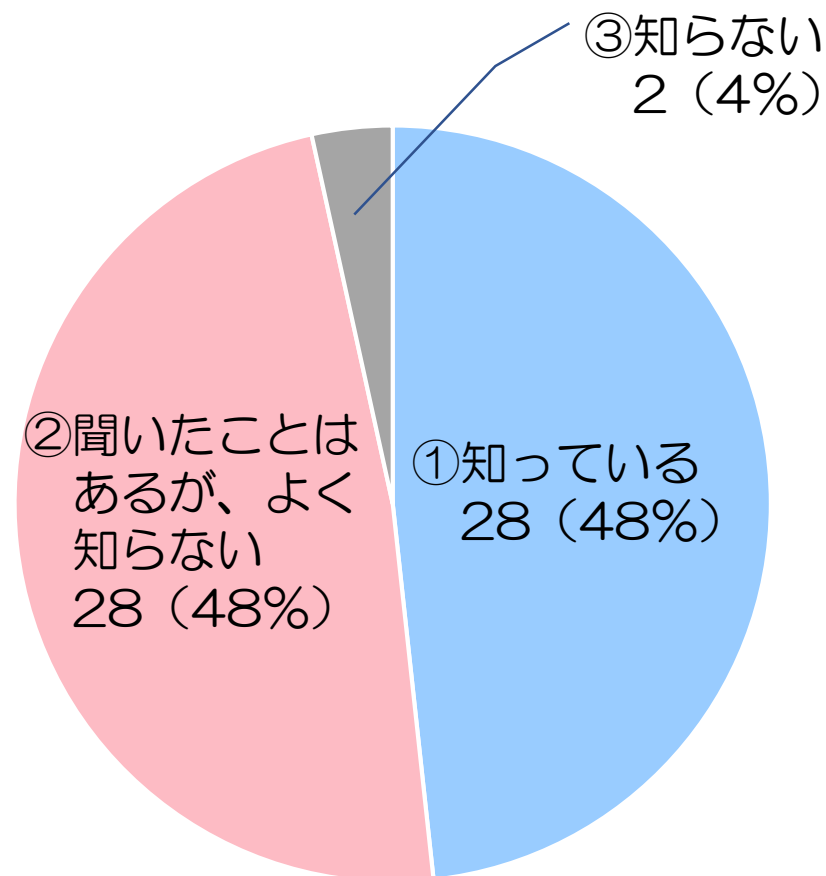
アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問1】 認知症がどのような病気か知っていますか？

認知症について、知っている、聞いたことがあると答えた人が多く、認知症という「言葉」が知られていることが分かりました。



03

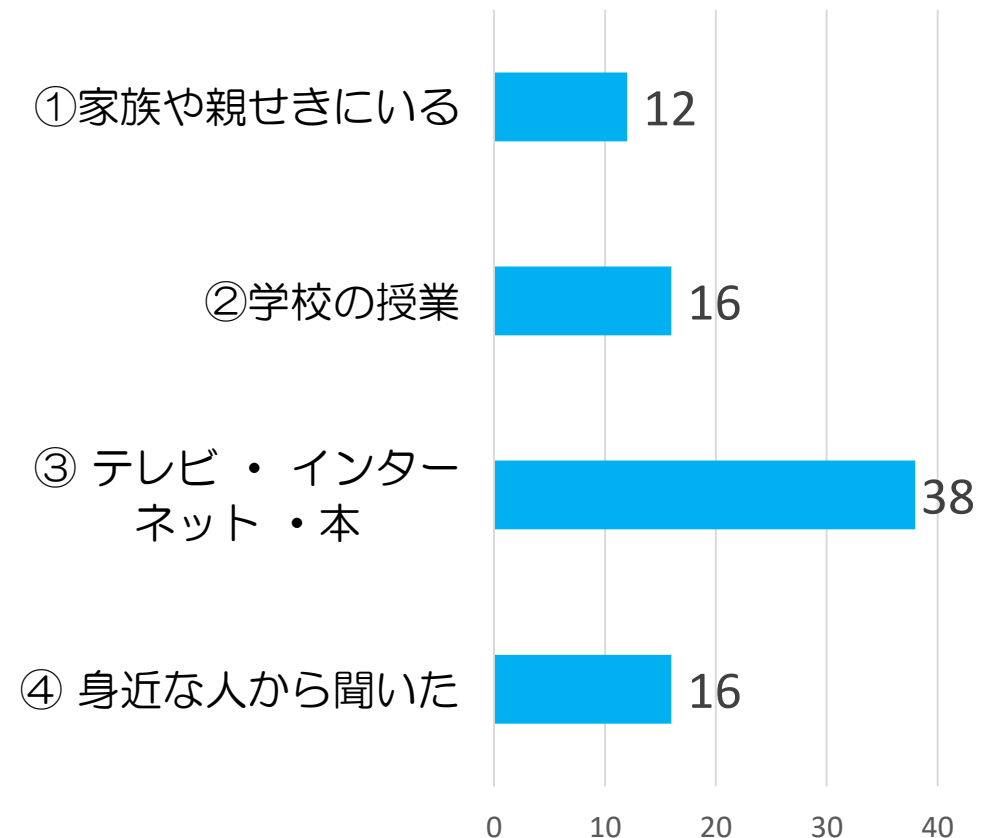
アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問1-2】 認知症について、どこで見たことや聞いたことがありますか？ (いくつでも)

テレビ・インターネット・本などのメディアが多くのかっかけとなっていますが、身近な家族にいたり、人から聞く機会があることも分かりました。



03

アンケート結果

(テーマ) 認知症について

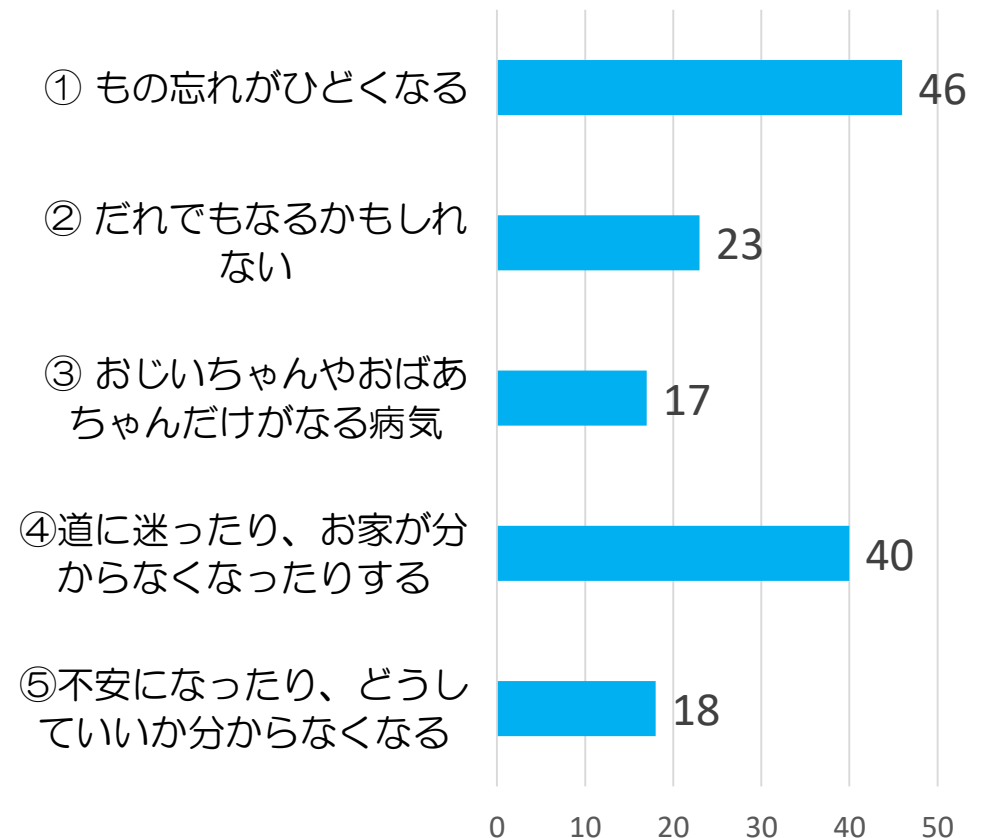


【問1-3】 認知症についてどんなイメージを持っていますか？ (いくつでも)

もの忘れがひどくなる、道に迷ったりするなどのほか、だれでもなるかもしれない病気とのイメージがあることが分かりました。

(自由意見)

- 昨日のことは忘れる
- 被害妄想が激しくなる
- 気分の上下が激しくなる
- 言ったことをすぐに忘れる



03

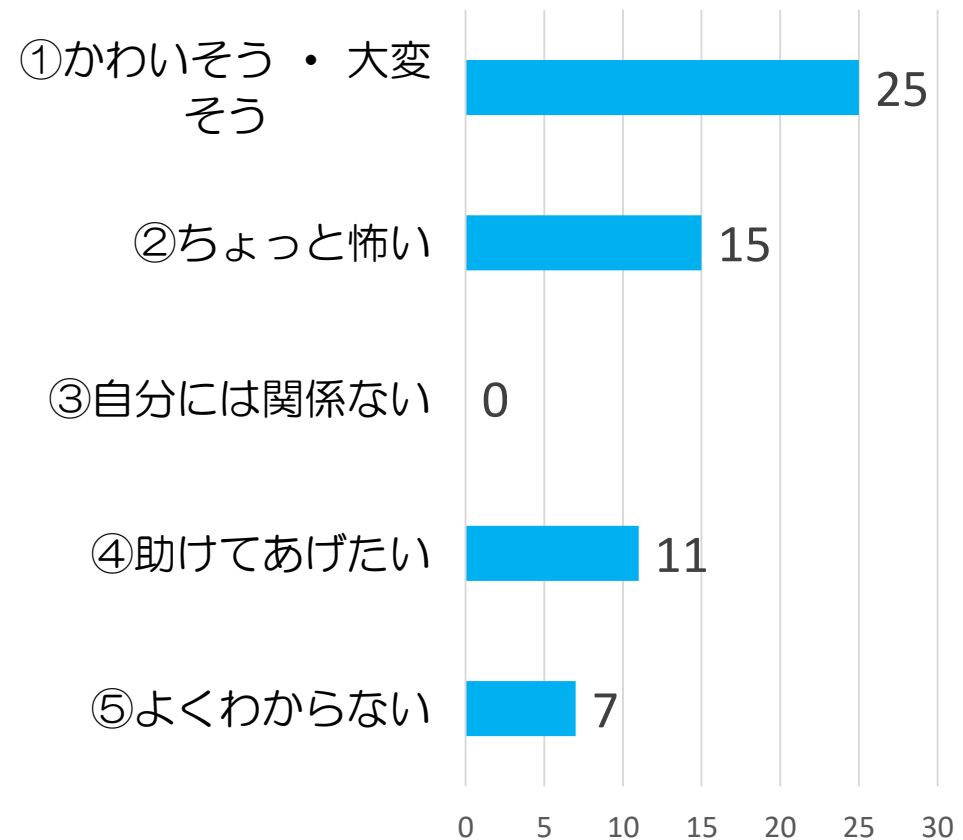
アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問2】 認知症という言葉を知ったとき、どんな気持ちになりますか？

かわいそう・大変そうとの意見が多くある一方で、助けてあげたいとの意見もありました。自分には関係がないと答えた人が、一人もいませんでした。



03

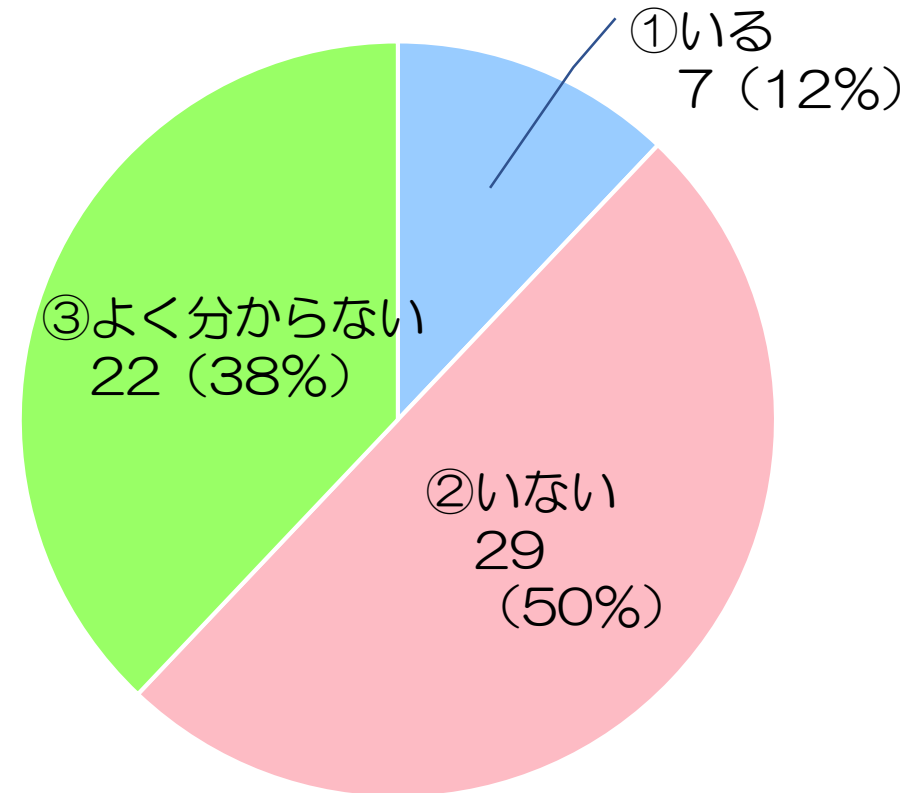
アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問3】あなたのお家や、近くに住んでいる人に、認知症の人はいますか？

認知症の人が近くにいない、よくわからないといった意見が多くありました。



03

アンケート結果

(テーマ) 認知症について

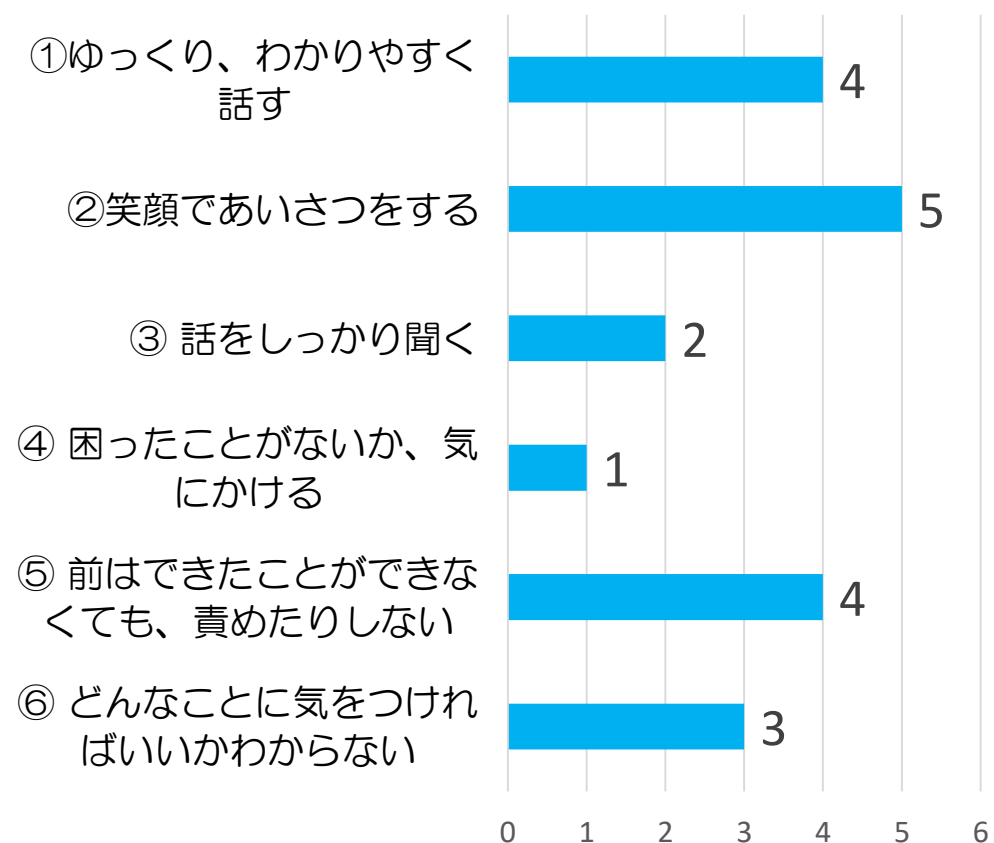


【問3-1】 認知症の人と話をしたり、一緒にいるときに、どんなことに気をつけていますか？ (いくつでも)

笑顔であいさつをしたり、ゆっくり、わかりやすく話すなど、認知症の人を気づかう行動がみられました。

(自由意見)

- 一緒のことを何度も言うけど、聞いたよとは言わない
- 思ったより気にしていない



03

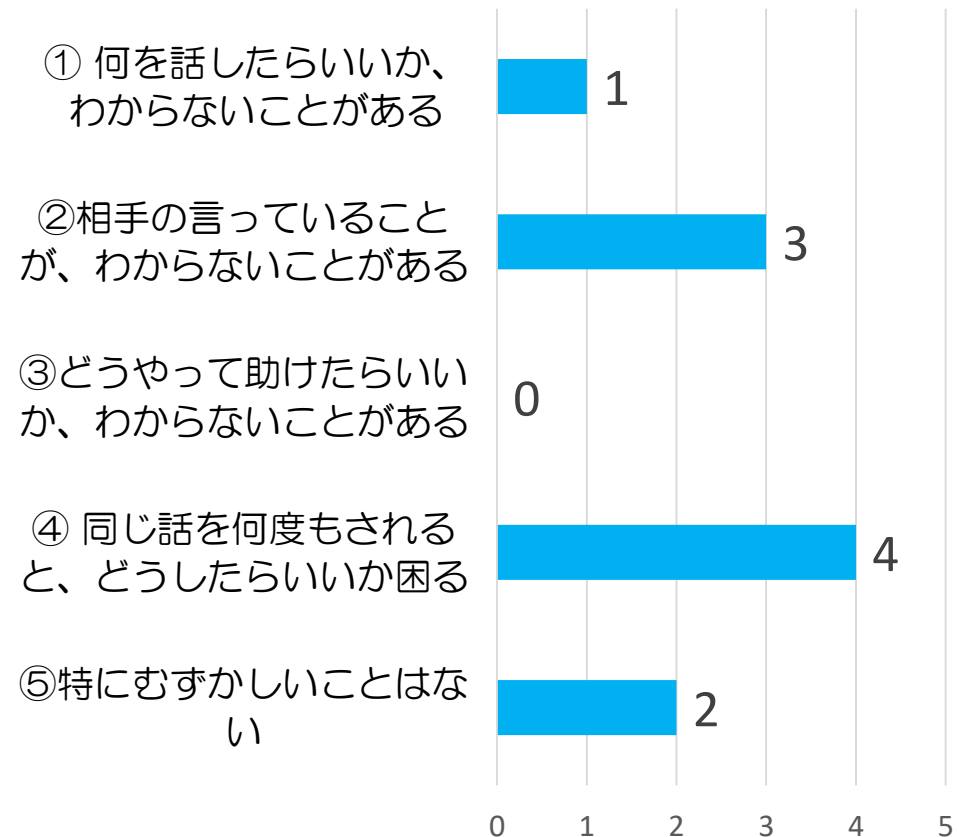
アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問3-2】 認知症の人と話をしたり、一緒にいるときに、どんなことがむずかしいなと感じますか？（いくつでも）

同じ話を何度もされると、どうしたらいいか困る、相手の言っていることがわからないことがあるなど、コミュニケーションの取り方にむずかしさを感じていることが分かります。



03

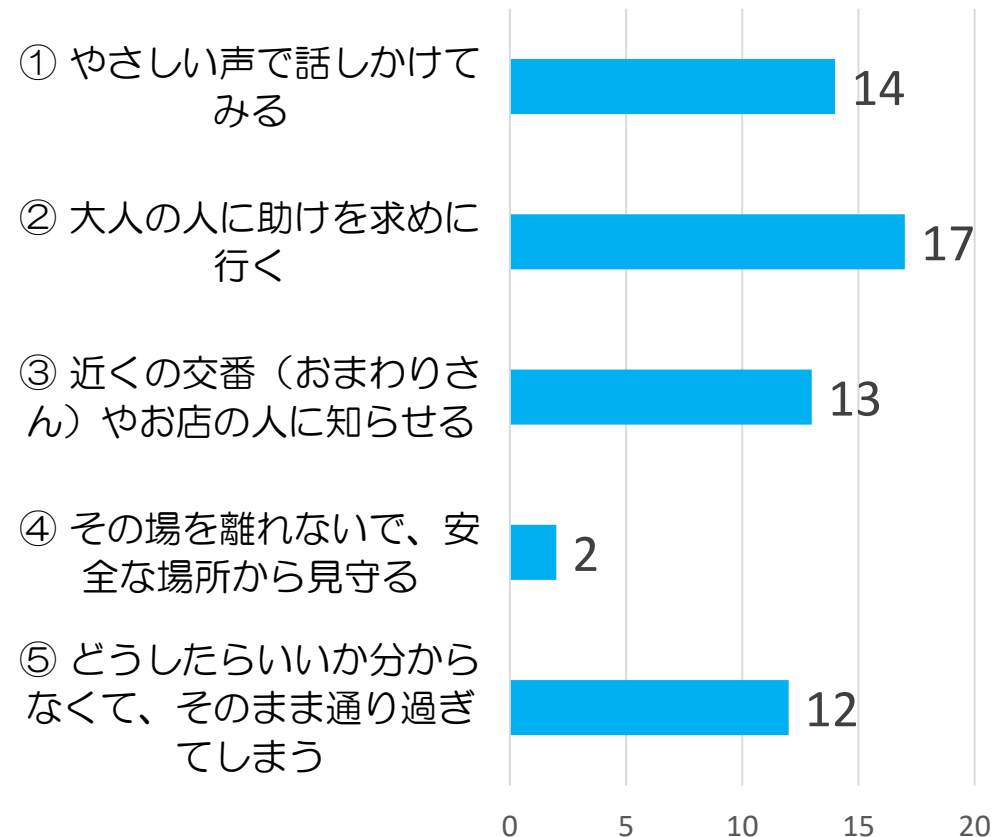
アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問4】もし、あなたが認知症で困っているかもしれない人を見かけたら、どうしますか？

話しかけてみる以外にも、大人の人に助けを求めに行く、交番やお店の人に知らせるなど、ひとりで判断することがむずかしいと感じていることが分かりました。



03

アンケート結果

(テーマ) 認知症について

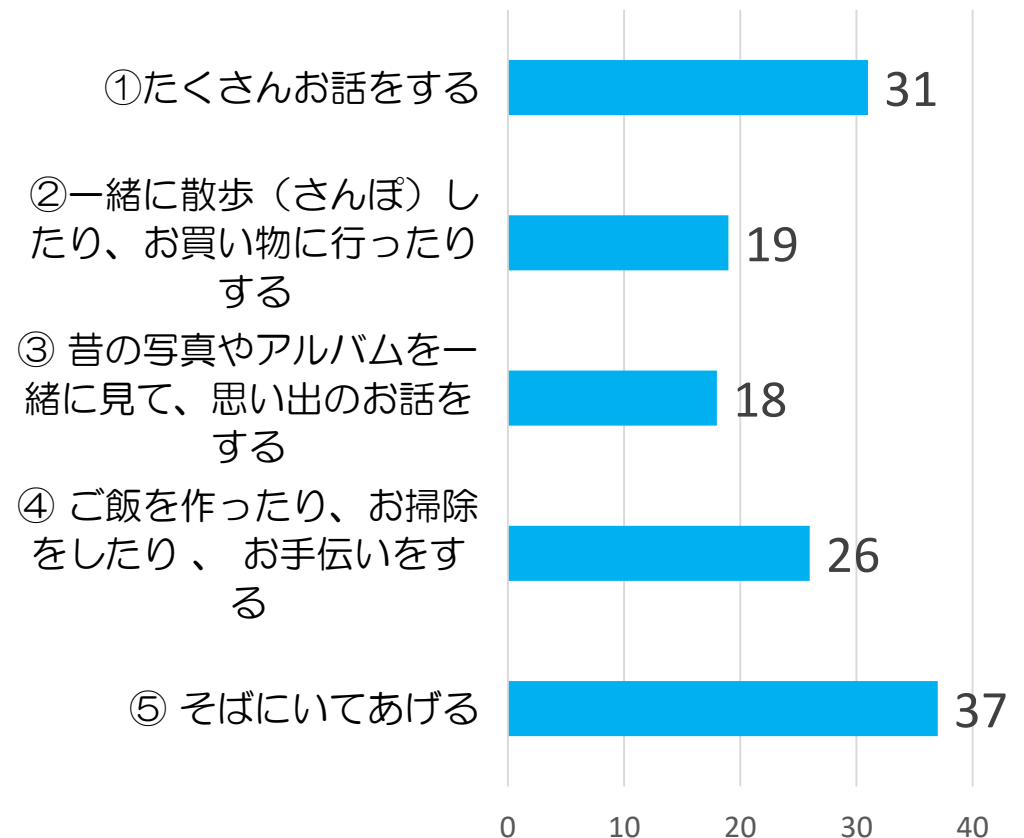


【問5】 もし、あなたのおじいちゃんやおばあちゃんが認知症になったら、どんなことをしてあげたいですか？(いくつでも)

たくさんお話をする、そばにいてあげる、お手伝いをするなどの意見が多く見られました。

(自由意見)

- すでに認知症になっているので、よく話はしている。
- 優しくしたい



03

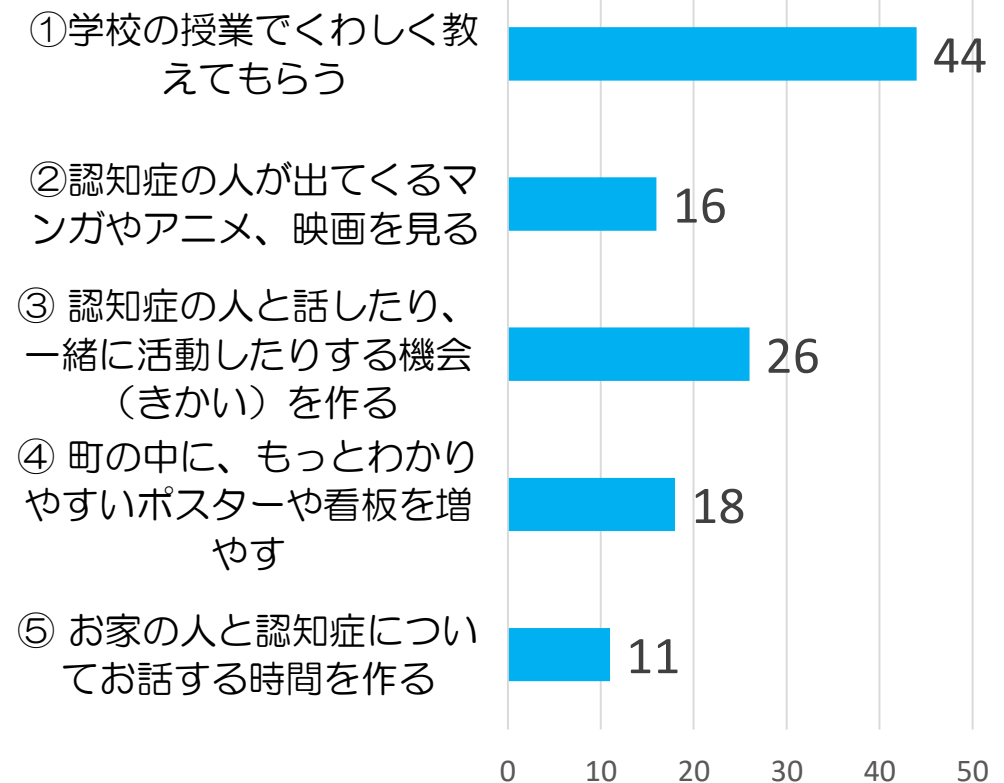
アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問6】 認知症になった人も、やりたいことやできることがたくさんあって、自分らしく暮らすことができます。認知症について「かわいそう」とか「こわい」と思っている人がいるとしたら、みんなが正しく知るためにはどんなことをしたらいいと思いますか？（いくつでも）

学校の授業でくわしく教えてもらうとの意見が多く、ほかにも、認知症の人と話をしたり、一緒に活動したいとの意見がありました。



03

アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問7】 認知症の人が自分らしく、安心して暮らすことができるように、わたしたちができることはどんなことだと思いますか？（いくつでも）

困っていそうな人がいたら勇気を出して声をかけてみたり、学ぶ場所に参加してみるとの意見が多くありました。

(自由意見)

- 友達に教える
- 認知症になった人が集まって話し合える場所を作る。
- その人がやりたいことを代わりにやったり、助けてあげる
- 認知症について調べる

① 困っていそうな人がいたら、勇気（ゆうき）を出して声をかけてみる

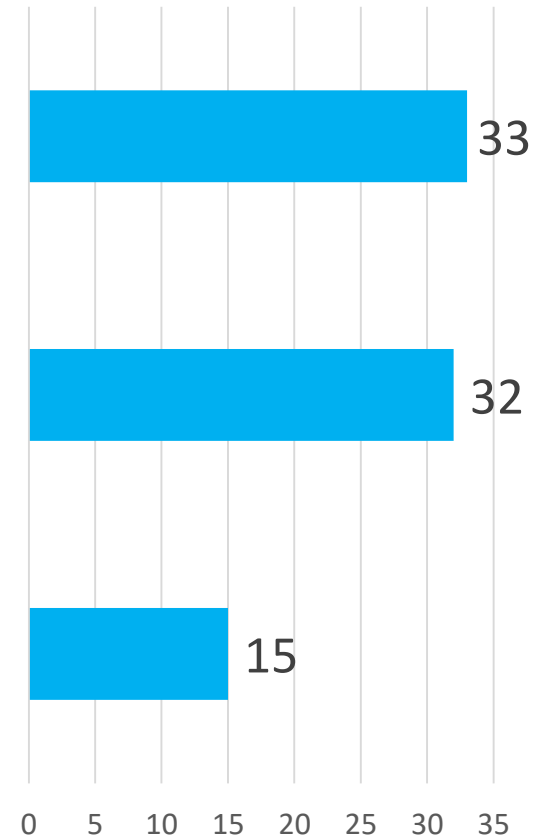
33

② 認知症について学ぶ場所（ばしょ）に参加してみる

32

③ 認知症について知ったことを、周りの人にも教える活動をする

15



03

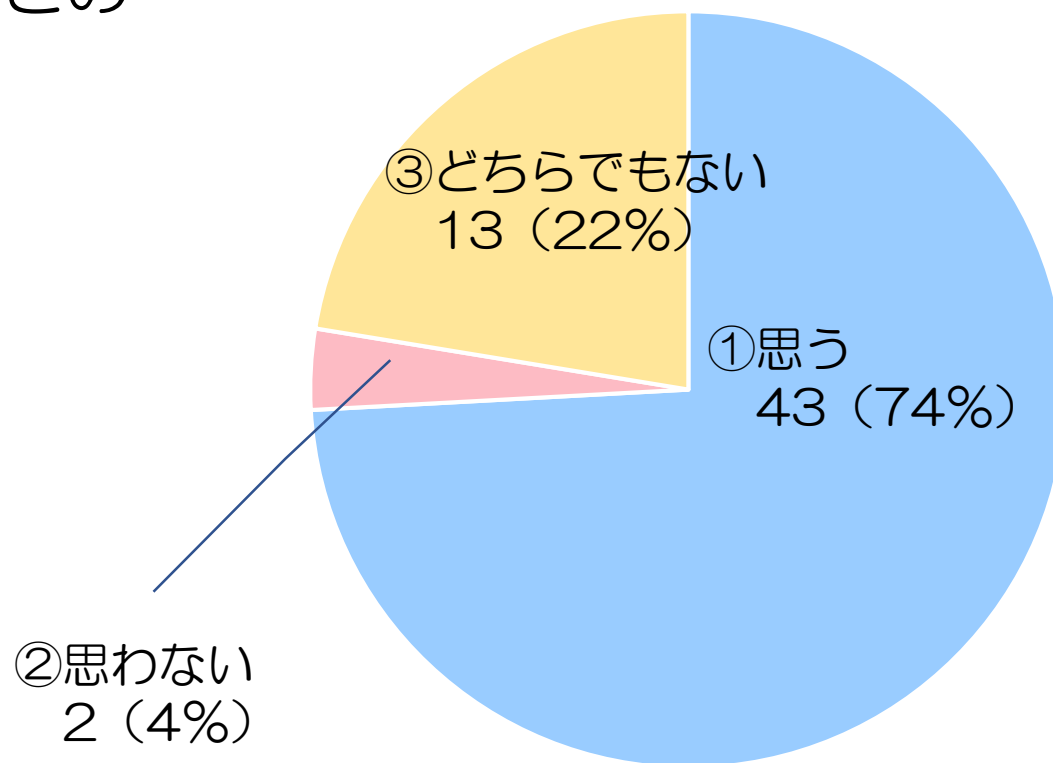
アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問8】 あなたの学校やまちで、認知症について学ぶ機会を増やしてほしいと思いますか？

学ぶ機会を増やしてほしいとの意見が多くありました。



03

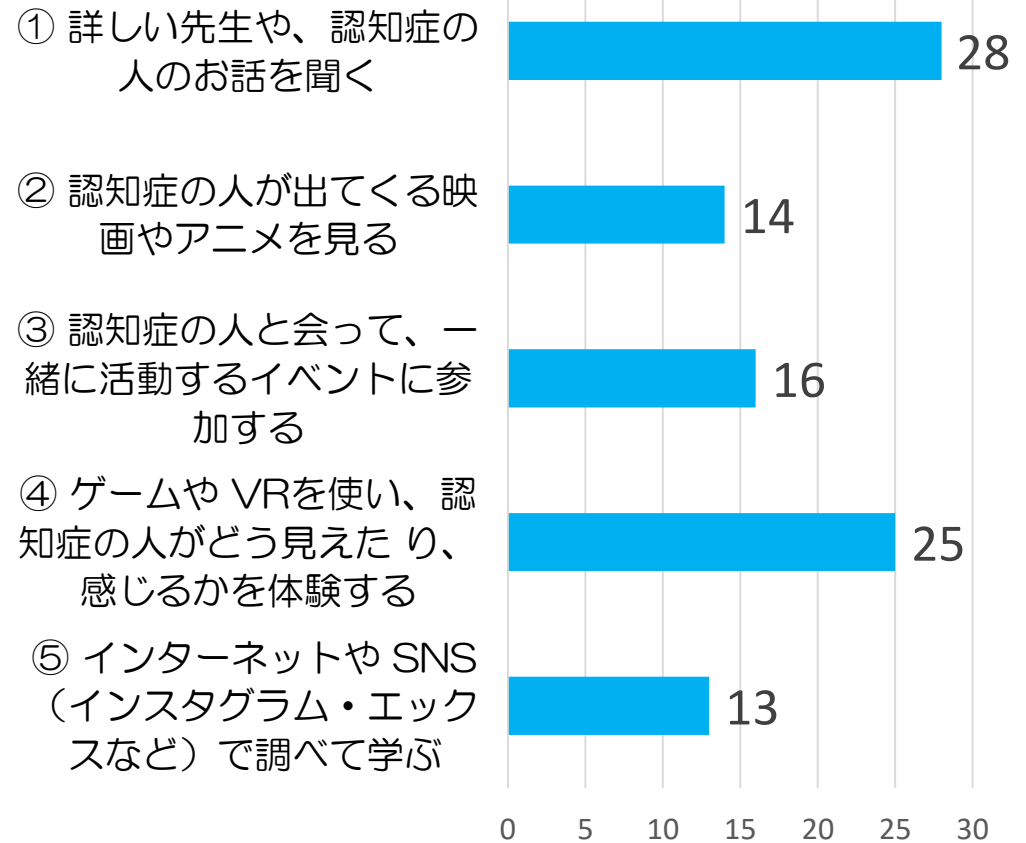
アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問8-1】どんな方法で学んでみたいですか？

実際に、くわしい先生や、認知症の人のお話を聞くことや、ゲームやVRなどで認知症の世界を体験をしてみたいとの意見が多くありました。



03

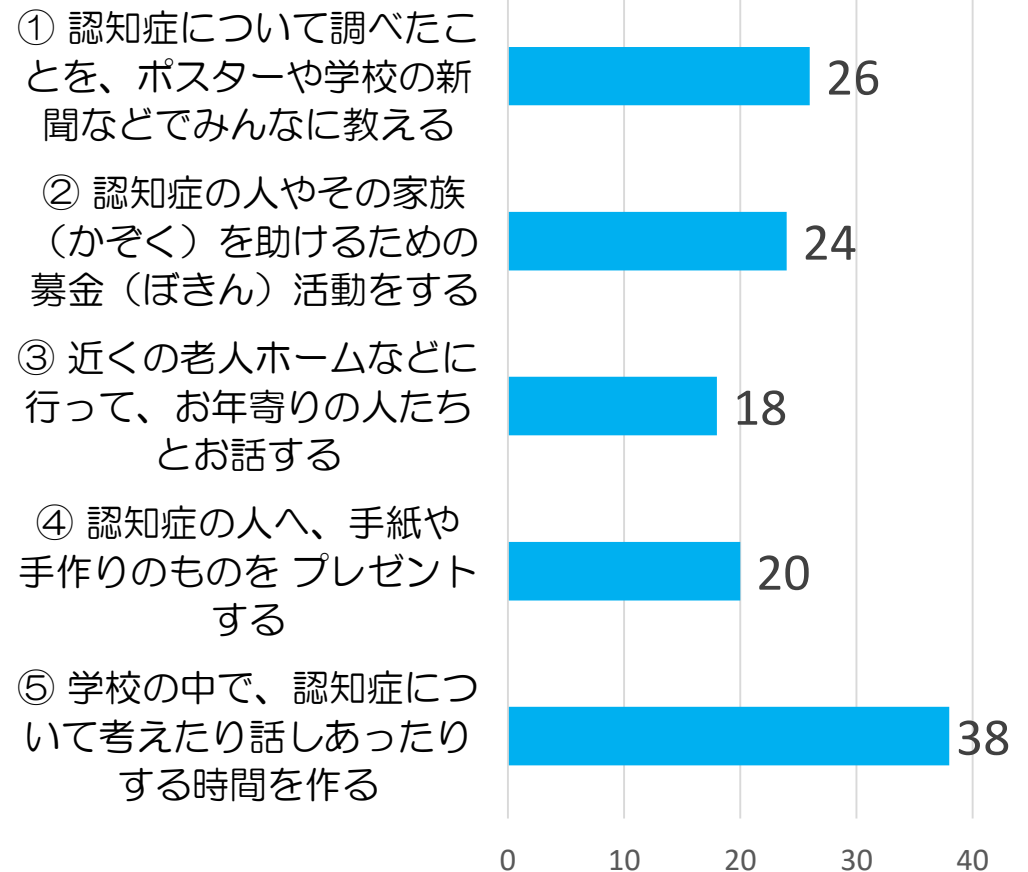
アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問9】 あなたの学校で、認知症の人が安心して暮らすことができるまちにするために、どんな活動ができそうだと思いますか？（いくつでも）

認知症について話したり考える時間を作ったり、調べたことをみんなに教えるなど、学ぶ時間や機会をつくりたいとの意見が多くありました。



03

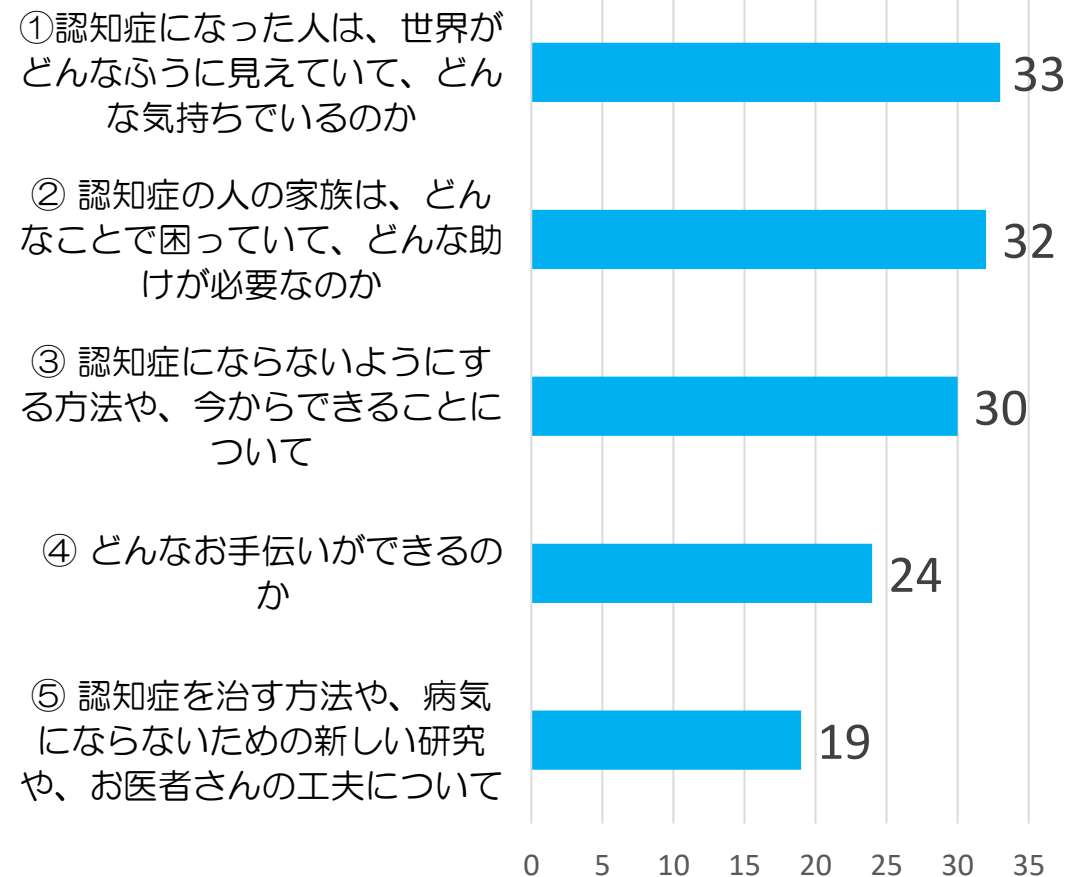
アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問10】 認知症について、あなたがこれからもっと知りたいことや、考えてみたいことは何ですか？（いくつでも）

認知症の人は世界がどんなふうに見えていてどんな気持ちなのか、どのような助けが必要なのか、などのほか、認知症にならないようにする方法についても、関心がありました。



03

アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問11】 認知症になった人も安心して暮らせるまちにするために、大事だと思うことは何ですか？

こどもから大人までが学ぶ時間を増やす、大人にすぐに知らせる仕組みを作る、気軽に相談できる場所を増やすなどの意見が多く、学ぶこと以外に、地域のサポートの必要性もみえてきました。

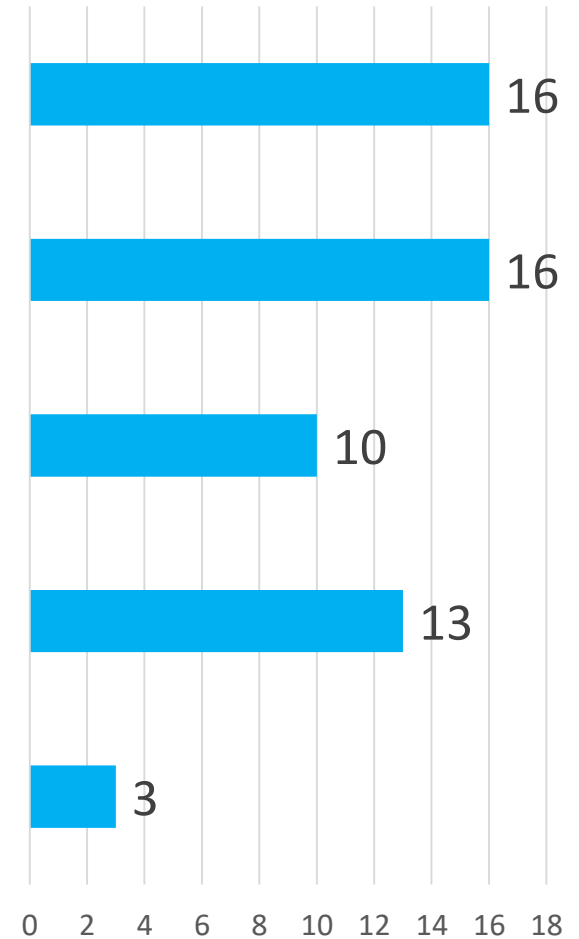
① こどもから大人まで、みんなが認知症について学べる時間をもっと増やす

② 認知症の人やその家族が、気軽に集まってお話したり、相談できる場所をもっと増やす

③ まちで困っている人を見つけたときに、すぐ大人に知らせたり相談できる仕組みを作る

④ お年寄りの人たちと子どもたちが一緒に遊んだりできるイベントや活動を増やす

⑤ 認知症の人を助ける専門の人（お医者さん、介護士さんなど）を増やす



03

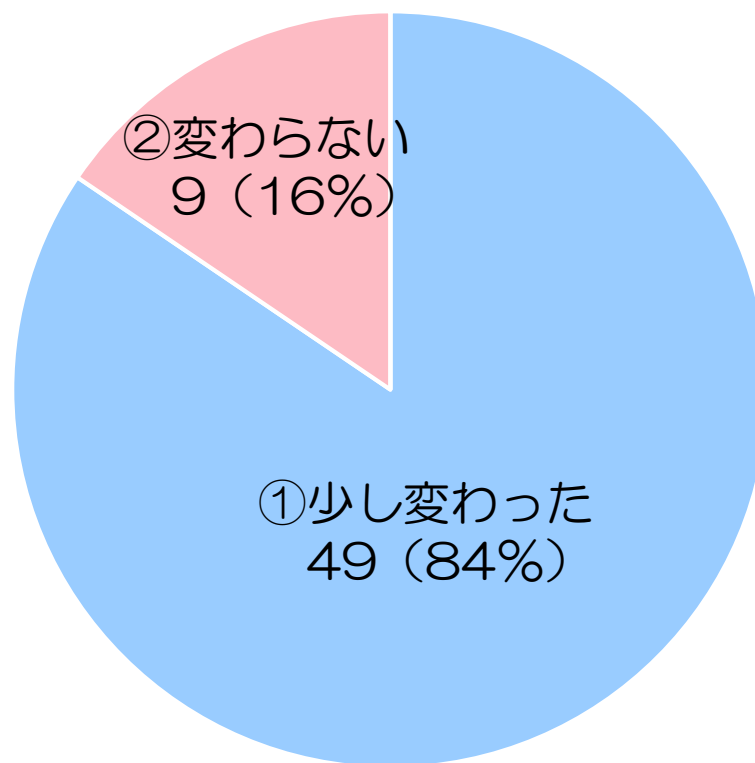
アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問12】 このアンケートをやってみて、認知症についてあなたの考え方が少しでも変わりましたか？

アンケートを通して、認知症についての考え方が少し変わったという意見が多くありました。



03

アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問12-1】 「少し変わった」と答えた理由をおしえてください。

(主な意見)

- 今までは、認知症について名前は知っていたけど詳しくは分かっていなかったけどこのアンケートを通して、認知症の人に少しでも安心して暮らせるようにお手伝いをしたり、みんながもっと認知症のことをよく知りみんなでわかっていけたら良いなと思ったから。
- 認知症は個人だけでなく、自分にもかかわってくることだと感じたから。
- 認知症のことをあまりじっくり考えたことがなかったから、大変さは知らないけど、同じ人間だから協力して助け合って、ちょっとだけでも、安心して一緒に暮らしたい。
- アンケートに答える中で、これまであまり意識してなかった認知症について考えるきっかけとなって、身近な問題だなと、意識がかわったから。
- 自分の祖父や祖母が認知症になったときのことを想像したこともなく、初めて考えることが出来たから。
- 認知症の人は自分が思っているより生活をする事が大変だという気づきがあった。
- 認知症がこわいとかかなしいと思うのが正しくないという事が分かった。でも、どれが正しいのか分からなかったので、自分で調べてみようと思います。
- こわいけど、困っている人がいたら声をかけてみようと思った

03

アンケート結果

(テーマ) 認知症について



【問12-2】 「変わらない」と答えた理由をおしえてください

(主な意見)

- 前からはあちゃんの認知症で色々知っている。
- 認知症について知っていたから。
- 特にない。
- 周囲に認知症の親族がいて、少し大変なこともあるが、そこまでひどくはないため。
- 最初から認知症をしらなかったから、知識を増やしたいとは思った。
- このアンケートでは特に認知症について知る事実は無いため、考え方は変わらない。
- わからない。
- 認知症について詳しく知れなかったから。
- 認知症は悪いことじゃないと元々知ってたから。

04 アンケートのまとめ



①認知症に対するイメージ

はじめは、認知症が「こわい」と思っていた人も、アンケートを通じて「自分にできることを探したい」「寄りそいたい」といった、気持ちへの変化がみられました。

②認知症の人にできること

特別なことでなくても、「たくさんお話をする」「そばにいてあげる」といった、相手の心に寄りそい、優しくしたいというような意見が多くみられました。

③もっと知るために

VR（バーチャル体験）などで、「認知症の人が見てる世界」を知ったり、直接お話を聞いたりして、もっと学びたいという意欲が伝わりました。

認知症はだれにでも起こる可能性がある病気です。
これからも、地域で暮らすみんなが、より笑顔になれるまちにしていきたいですね。



アンケートへのご協力
ありがとうございました！

